

① 学習指導案

プログラム	No. 11 「 地域景観プランナーになろう 」
単元名 (全50時間)	ブラリ戸部動画
学習のねらい	「戸部のまちの魅力を動画で伝えて、まちの人を笑顔にしたい」という夢の実現に向けて、まちの動画を作って発信する活動を通して、まちのどのようなことをどのように動画にしていけるかを考えることで戸部のまちの魅力や動画制作の面白さに気づき、動画制作をしている人やまちの人々と交流して人の温かさやまちへの誇りを今までよりもさらに感じ、まちの一員としてこれからもまちを大切にしていこうとする。
学習内容	1 どんな総合をしていこうか？ 2 動画を作ってみよう！ 3 ブラリ戸部動画を作ろう！ 4 ブラリ戸部動画でまちの魅力を伝えよう！
参考資料 準備品 実施場所等	

ブラリ戸部動画

5年1組 28名 武藤 由希子

1 単元の構想

(1) 子どもの願いと教師の願い

これまでの総合を振り返り、今年度の総合でどのような自分たちになりたいかを話し合ったところ、「地域の人とたくさん関わりたい」「戸部のまちのことを調べて、魅力を伝えたい」「何かをみんなで作りたい」という意見が出た。撮影や編集の工夫をして、まちの魅力を伝えていける動画の良さに気づき、「まちの魅力を動画で発信し、まちの人を笑顔にしたい」という夢をもっていった。

「ブラタモリ」は、冒頭で課題（テーマ）を出し、実際に歩きながらその土地について調べ、解決していく番組だ。当たり前に通る道や行く場所に、様々な歴史や意味がある。疑問をもち、歩いて調べたり、まちの方や歴史を知る方に話を聞いたりして、これまで知らなかったまちの魅力を再発見できるようにしたい。また、情報機器で動画を作る過程で、動画作りをしている方と関わり、情報を集めて精選したり、撮影や編集で表現の仕方を考えたりする楽しさや楽しさを感じるができるようにする。戸部のまちの魅力のつまった動画でまちの人と交流することで、まちの人の温かさや、地域への誇りを今までよりもさらに感じるができるようになってほしい。

(2) 学習材について

本単元の探究課題：動画で伝える戸部のまちの歴史と魅力

学習対象	学習内容	期待する子どもの姿
・動画 ＜文化＞	人々の生活に合わせて情報機器はどんどん進化していることや、情報機器の様々な機能を使って動画で表現する面白さを知ること。	動画は、様々な表現方法で分かりやすく伝えられて便利だね。撮影や編集の工夫ができて面白いね。
・動画制作 ＜情報＞	より伝えたい情報を選んで動画を作るには、まちの人に戸部の歴史の魅力を伝えたいという相手意識や目的意識をもって情報を集め、発信していく必要があるということ。	資料で調べたり人に話を聞いたりして、見る人が興味をもって楽しくまちの歴史を知ることができるような動画を作りたい。
・映像ディレクターYさん ＜キャリア＞	様々な地域の歴史を調べて動画撮影や編集をし、全国の人を楽しませているYさんの熱い思いやすばらしい技術について知ること。	その土地の魅力をとことん調べて動画を作っていてすごいな。Yさんのように、みんなが楽しめる動画を作りたい。
・国区郷土史研究会会長Tさん ・戸部のまち ・まちの人々 ＜地域＞	戸部のまちには歩いているだけでは分からない歴史がたくさんあり、その歴史を研究し、多くの人に伝える活動をしている人がいること。自分たちの調査に協力してくれる温かいまちの人がたくさんいること。	知らない歴史や魅力がたくさんあるね。まちの人の子どもの時の話を聞けて嬉しい。戸部は、昔も今もみんなに大切にされている。ぼくたちも大切にしていきたい。

(3) 単元目標

「戸部のまちの魅力を動画で伝えて、まちの人を笑顔にしたい」という夢の実現に向けて、まちの動画を作って発信する活動を通して、まちのどのようなことをどのように動画にしていくかを考えることで戸部のまちの魅力や動画制作の面白さに気づき、動画制作をしている人やまちの人々と交流して人の温かさやまちへの誇りを今までよりもさらに感じ、まちの一員としてこれからもまちを大切にしていこうとする。

(4) 単元で育てたい資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・まちは、ただ歩いているだけでは分からない歴史のあるものがたくさんあるということを知る。 ・情報機器を使い、撮影や編集の仕方を工夫して動画で表現する面白さを知る。 ・全国の地域の歴史を調べて動画撮影や編集をしているYさんの思いや技術を知り、動画作りに生かす。 ・戸部のまちには、まちの歴史を研究して人々に伝えたい人や、自分たちに優しく教えてくれる人がいることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸部のまちを歩き、歩くだけでは分からないことをどのように調べたり、伝えたりしていくのか計画を立て、見直しをもつ。 ・郷土史研究会のTさんやまちの人々に話を聞き、戸部の歴史についての情報を集める。 ・集めたまちの情報の中から動画で伝えたいことを分類して整理して、構図を考えて撮影したり、テロップや音声などを工夫して編集したりする。 ・戸部の歴史を楽しく伝えられる動画になっているか、何度も見合っで改善し、できた動画を学校やまちの人に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの魅力を動画で伝えるために、協力して情報収集や撮影、編集をしようとする。 ・みんなで作った動画を見て、良いところやさらに良くできるところを伝え、それぞれの考えを認め合いながらよりよい動画にしていこうとする。 ・動画を作るために、みんなで試行錯誤を繰り返して、戸部の魅力を動画で発信できたという達成感や成長を感じる。 ・たくさんの人に支えられていることに気づき、戸部のまちの一員としてまちを大切にしていこうとする。

小単元の学習課題・学習活動・期待する児童

【学びどころ】

●関連する教科等

I どんな総合をしていこうか？

⑤

- 総合でどのような自分になりたいか、クラスでどのようなことを目指していききたいかを話し合う。
- 目指している夢を実現するために、どのような活動をしていききたいか考え、見通しをもつ。

戸部のまちな人を笑顔にしたい。今まで知らなかった戸部のまちな魅力を自分も知りたいし、知ってほしいな。どうやって伝えていこうか。動画だと、クラスで目指していることに近付けそう。みんなが楽しみながら戸部のまちな魅力を知ることができるような動画を作りたい。戸部のまちなや動画のことをこれから調べていきたい。

II 動画を作ってみよう！

⑥

- 動画の作り方を調べる。
- 戸部小の歴史について調べ、グループごとに撮影や編集をして動画を作る。

「ブラタモリ」を参考に動画を作っていこう。機器の使い方を調べて操作してみよう。戸部小学校の記念誌や展示館の資料から何を動画にしていきたいか考えよう。みんなで撮影したり編集したりするのが楽しいね。内容、音声や文字、速さなど、様々な工夫ができるね。みんなで見合っって改善しよう。正しい情報かきちんと調べることが大切だね。説明ばかりだと面白くなく飽きてしまうし、面白いことばかりだと伝えたい内容が薄くなってしまふ。まちな動画を作る時に両方がしっかり入っている動画を作っていきたい。

III ブラリ戸部動画を作ろう！

⑦

※本小単元

どのようにまちな動画を作っていこうか。「ブラタモリ」はどうやって作っているのかな。映像ディレクターのYさんに、どういふところを大事にしているのか聞きたい。何度もその土地を歩いたり、地域の人に話を聞いたりしているんだね。Yさんは、「なぜと思うことをとことん追究する。見る人の視点で一緒に追体験できるようにする。」と言っていたよ。Yさんのような動画を目指していきたいな。まちなを歩いて、疑問に思ったことを調べよう。掃部山公園や水道道など、歴史がありそうだけど、歩いているだけでは分からないな。西区郷土史研究会のTさんは、ぼくたちの知らないまちな歴史を知っているよ。「今の戸部とのつながりを考える。過去を振り返って今を見る。」と言っていたよ。市郷土保存館の館長さんやまちな人が、昔、戸部小の前を歩いていた市郷土のことを教えてくれた。歴史を調べて伝えていくのがいいな。まちなの人に、子どもの時の戸部のまちなのことをたくさん教えてもらって嬉しいな。撮影や編集をして、みんなが楽しんでくれる動画を作っていこう。見ている人が一緒に戸部にある謎を解き明かしていく動画になるよう見合ったりYさんにアドバイスをもらったりして改善しよう。戸部のまちな魅力がたくさんつまったブラリ戸部動画になったね。

IV ブラリ戸部動画でまちな魅力を伝えよう！

⑧

- 戸部の魅力を他の学年や地域の方々に動画で発信する。
- 自分たちのこれまでの活動から、できるようになったことや感じたことを振り返る。

動画をどのように見てもらおうか。楽しんでもらえるように発表の内容を考えよう。他の学年やまちなの人に楽しんで見てもらえたよ。活動を通して戸部のまちな魅力を再発見できたよ。戸部の歴史は、まちな人やぼくたちにとって宝物だと思う。クラスのみんなや地域の人、教えてくれた人がいたからやり遂げることができた。前よりもさらに戸部のまちなや人が好きになった。これからはまちなを大切に、自分にできることを探して行動していきたいな。

【小単元Iの学びどころ】

自分たちの目指す総合について話し合う中で、「学校や地域の様々な人を楽しんでもらえる戸部のまちな動画を制作して発信したい」という夢をもち、これからの活動の計画を立てる。 <地域>

●「きいて、きいて、きいてみよう」 (国語)

目的や意図に応じてインタビューをし、相手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができる。

【小単元IIの学びどころ①】

人々の生活に合わせて情報機器はどんどん進化していることや、情報機器の様々な機能を使って動画で表現する面白さを知る。 <文化>

●「動画を作ってみよう！」

(国語8時間)

立場や意図を明確にして現状と改善点を話し合い、まとめることができる。

【小単元IIIの学びどころ②】

伝えたい情報を選んで動画を作るには、相手意識や目的意識をもって情報を集め、発信していく必要があるということを理解する。 <情報>

【小単元IIIの学びどころ①】

様々な地域の歴史を調べて動画撮影や編集をし、全国の人を楽しませているYさんの熱い思いやすばらしい技術について知る。 <キャリア>

【小単元IIIの学びどころ②】

戸部のまちなには歩いているだけでは分からない歴史がたくさんあることや、その歴史を研究し、多くの人に伝える活動をしている人がいることを理解する。 <地域>

●「情報を伝える人々とわたしたち」 (社会)

情報を集めテレビ番組を作り発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送の産業の様子を捉える。

【小単元IVの学びどころ】

活動を通して、戸部のまちなのすばらしさを発信できた達成感や成長を感じる。友達や地域の人など、たくさんの人に支えられていることに気づき、これからは戸部のまちなの一員としてまちなを大切にしていこうとする。 <地域>

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

自分たちだけの考えだけにせず、地域のお店の人や、西区の歴史を知る方、市電保存館の館長、動画づくりのプロなど、様々な人からお話を聞き、まちの魅力を伝える動画を作るにはどうしたらよいかをみんなで考えながら学習ができるようにした。動画を作りながら、今まで知らなかった自分たちのまちの歴史や、人の思いを知り、まちやまちの人に対する誇りや思いをもてるようにした。

(2) 実施にあたり苦労した点

たくさん調べたことの中から、どの情報をどのように動画にしていくか、プロが作った動画を見て完成イメージをもてるようにした。子どもたちは動画づくりが初めてなので、情報機器の操作や役割分担の仕方など、試行錯誤しながら進めていった。分からないことがあるときには、プロの方に教えてもらったり、みんなで考えたりするようにした。

(3) 児童の反応

たくさんの人と関わり、自分で実際に歩いてじっくり調べたことの中から伝えたいことは何かを考えて、まちの謎を解き明かしていくような動画を作れたことに、自分の成長をたくさん感じていた。また、関わってくれた人への感謝の気持ちをもっていた。これまで当たり前のように通っていた道や場所に歴史や人の思いがあることを知り、まちに対する見方が変わっていった。作った動画を他の学年や家族に見てもらい、自分たちが感じたまちのすばらしさを伝えられ、喜びを感じていた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

戸部のまちのことを知っているつもりでいたが、まだまだ知らないことがたくさんあった。まちの人や、歴史に詳しい方にお話を聞き、子どもたちと一緒にまちの素敵さを改めて感じた。また、動画のプロと関わり、その技術のすばらしさを感じた。目標に向けて、子どもたちと一緒に成長できたように思う。

(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]

感染症予防の点から、これまでより活動の配慮が必要なことが多かった。例年開催されていたまちの人との行事ができなかった。作った動画をまちの人たちにもっと見てもらい、広げていきたかった。